

令和8年度 府立学校進路指導研修ならびに大阪府高等学校進路指導研究会講演会 記録

会 場：大阪市立子ども文化センター（大阪市此花区西九条）

講 師：Edv Future 株式会社 事業推進グループ 責任者 今井 啓太 様

内 容：「自立的なキャリア形成を支える探究学習の設計」（ご本人の講演内容より抜粋）

これからの時代において、AI の活用が加速していく中であっても人材を求めていくうえで「学力」や「教養」の重要性は変わらない。

近年では企業の規模を問わず、これまでにあった年功給から多くの企業が職能給へと変更しつつある現実がある。また、キャリア採用（中途採用）の基準において、職務経験やコミュニケーション力のような非認知能力を重んじる企業も増えている。

では、キャリア形成について何が必要なのか？ということを考え、進めていくうえで、「自分は何者になりたいのか？」と考えることが大切になってくる。経験を積むことや他者からのフィードバックを受けることを通して、メタ認知の歪みを直し、向上に役立ててほしい。

探究がうまく回っている学校は、ワクワク感と目的の設定がうまくいっている学校が多い。また、探究活動による効果を上手く伝えられている学校にもその傾向は多く見られる。生徒がアウトプットしたことを教員がしっかりと褒めてあげることを大切に、生徒がその感情や思いに対して、自分の次のステップを考えていけるように教師が手を差し伸べてあげるのが効果的である。

「なぜワクワクするのか？」について、生徒が自己内省をしていき、そこに大人からのフィードバックを入れてあげることで、更に向上できるきっかけを作してほしい。

【講演の様子】



作成者：事務局長・小川敏和
（大阪府立東住吉総合高等学校）